

「小中学生向けオンラインプログラミング教室の運営、指導」

竹内 慎作

概要

1. 目的

小学校では 2020 年度から、中学校では 2021 年度からプログラミング教育が必修となった。高校でも 2025 年度の入試から共通テストで「情報」が新設。これらの動きから分かるように、情報の知識とプログラミングの論理的思考力がこれからの社会でますます求められており、小中学生のうちからプログラミングに触れることで、問題解決能力や創造性が身につく、将来の職業の選択肢の幅が広がる。このような学びの場を提供したいというのが、動機・目的である。

2. 計画

指導場所の確保が課題点だったため、対面ではなく、リモート環境下での指導を行うことにした。活動の円滑な実行のため、開校するにあたる法律面、税制上、決済面などの課題点をピックアップし、確実に一つ一つ解決していく。他にも、ミーティングシステムや指導内容を確立し、リモート環境下で指導する体制を整えていく。

3. 活動経過

時期	内容
6 月上旬	税理士相談、開業届提出
6 月中旬～	HP や公式 LINE 作成、周知活動
7 月中旬～	体験授業実施
7 月中旬～	弁護士相談
7 月下旬	入会申込受付 開始
8 月～	授業開始

4. 成果・結果

少人数制クラスで小中学生にプログラミングを指導し、教室を運営することができた。ドラック＆ドロップの簡単なマウス操作から始めることができるビジュアルプログラミング言語「Scratch」を使用し授業を行っている。「ジュニアプログラミング検定」という外部検定の対策を行い、受講生の受験・合格をサポートしている。9 月末の第一回の受験で 2 人の受講生が Silver レベルを合格。今後の課題は、新しいテキストプログラミングコースを設立し、広告活動を通して本校を知ってもらうことである。